

卒業アルバム



2001年5月、全日本学校アルバム印刷組合から記念すべき本が誕生しました。卒業アルバムについて書かれた本は業界向け以外は殆ど存在しません。書店では流通していないものの、一般向けとしては最初の本と言えます。卒業アルバムとは一体何なのか？ その価値と本質に迫ろうとチャレンジし、啓蒙活動の一貫として発行したものです。著名人35名が綴る、卒業当時を懐かしむ軽妙な語りや、卒業後数十年を経て甦る思い出に浸ったり、その内容は今読んでも色褪せません。残念ながら絶版となりましたが、今年の3月に地元紙「新潟日報」の朝刊1面コラムに取り上げられました。この記事을併せて読んで頂ければ幸いです。

清水 伸



今後の「はくしんどう時間」発行につきまして

「はくしんどう時間」は、コロナ禍の2020年、お客様へ「博進堂の今をお届けする」というテーマで発行させていただきました。お客様からは「毎回はくしんどう時間が届くのを楽しみにしています」等のありがたいお声を頂戴してまいりました。今では対面のコミュニケーションも当たり前に戻り、この「はくしんどう時間」は役割を終えて一区切りとさせていただきます。今後、博進堂の旬な情報はリニューアル予定の会社案内とSNSにて、さらにパワーアップした形でお届けしてまいります。今後も進化し続ける博進堂をご愛顧くださいますよう、お願い申し上げます。

専務取締役 清水 隆太郎



Instagram

学校あるばむは生きる力を育む

学校あるばむは何のためにあるのか？

これは私にとって永遠のテーマです。

人は災害に直面した時や人生で悩んだ時に

何故、アルバムや写真を求めるのか？

恐らくそこにはかけがえのない家族やふるさとがあり、

学校生活を共に過ごした友がいて、恩師がいて、

学び舎があつて、その一つひとつが生きてきた証であり、

心の拠り所となっているのではないのでしょうか。

今、G7(先進7カ国)の中で、

日本は若者(小中高生)の自殺が最も多いと報道されています。

自分自身に満足していると答えた若者は45%、

最も高い米国は87%、韓国は74%です。

日本人の若者は自己肯定感が低いと言わざるを得ません。

ありのままの自分を認め、尊重してほしい。

私達が提供する学校アルバムが

卒業した後も子どもたちを励まし、勇気づけ、

生きる力を育む一助となつてほしい。

そう願っています。



卒業アルバム〈非売品〉

2001年5月24日 第1刷発行

発行所 全日本学校アルバム印刷組合

抄報日

胸の飾りが特別な日であることを示している。

卒業式帰りの女子生徒の
一団と擦れ違つた。声高
な語らいはやむ気配がな
い。笑顔と涙の喧噪の後

で一人そつとアルバムを開き、思
い出に浸るのだろうか▼全日本学
校アルバム印刷組合が2001年
に「卒業アルバム」というタイト
ルの本を発行した。各界の著名人
がアルバムへの思いをつづつてい
る。読み進めていくうちに引き込
まれた▼スポーツライターの増田
明美さんは卒業アルバムを「青春
のオルゴール」と例えた。開くと
仲間や先生の声が聞こえてくる。
時を忘れてその音に浸り、思い出
を抱きしめたい気持ちになる。共
感する人は多かろう▼アルバムは
時代も映す。12歳だった武田鉄矢
少年のモノクロの集合写真を見る
と、前列の子はみな裸足だった。

「その一枚にありありと戦後の貧
しさが映り込んでいる」とは武田
さんの述懐だ▼令和の卒業アルバ
ムは多様化が進む。デジタルアル
バムが普及し始め、機能性が大き
く向上した。スマートフォンで内
容を確認できるようにもなった。
その一方で、個人情報保護や教
員の負担軽減のため、文集を載せ
るのを取りやめる動きもある▼時
折見返しては過去を顧みる。わが
身を振り返つても、一人でアルバ
ムを繰りながら心のページもめく
り、身が引き締まるように感じた
ことがあつた。そのうち、指一本
で心のページを開くのが主流にな
るのか。悲しいことがあると皮の
表紙を開いてきた世代にとっては
その「軽さ」が何とも味気ない。

2025.3.8土